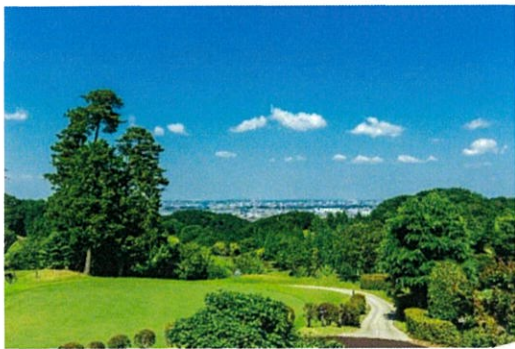


都心から約1時間、相模川と丹沢山系を望む、恵まれた自然を生かした27ホールの丘陵コースです。オールベント2グリーン、東コースはゆったりと開放的、相模川を眼下に、はるかスカイツリーまでの眺望が楽しめる3,338yd、中コースは多彩なライからの距離感と正確性が求められる3,158yd、西コースは変化に富み戦略性が求められる3,191yd。プレーするたび初心者から競技志向者まで楽しんでいただけるコースです。

快適なクラブライフ、より良いコースコンディション、自然環境を大切にすることを念頭に、地域社会に貢献する、「持続可能なゴルフ場」でありますよう努めています。



西パッティンググリーンより都心を望む

クラブの設立

1966年、相模カントリー倶楽部の会員有志でクラブを設立、1968年開場。発知朗ほっちあきら氏設計のコースはホール毎の特色と変化に富み、クラブハウスはレイモンド設計による自然でシンプルな佇まいです。

初代理事長大槻文平氏（三菱鉱業現三菱マテリアル社長、日経連会長）をはじめ各界の第一線で活躍する理事による運営が始まり、2018年には開場50周年を迎えました。



1972年 東6番

クラブの活動

日本ゴルフ協会（JGA）、関東ゴルフ連盟（KGA）に加盟、多くの会員がJGA、KGA主催競技に参加しています。クラブ選手権、月例競技等のクラブ主催競技の他、シニア会、グランドシニア会、レディース会、研修会等、会員主催の活動も盛んです。シニア会のイベントは特に好評で、長年にわたり親しまれています。また若い世代の集い、マナーと技術の向上を目指す会等、活動は多種多様です。ゲスト参加可能なコンペも数多く開催しており、ゴルファーの皆さまが親睦を深めています。



クラブ対抗戦結団式

ジュニアゴルファーの育成

大勢のジュニアゴルファーが誕生し、プロゴルファーも輩出しています。愛川町ゴルフ協会、相模原市ゴルフ協会、厚木市ゴルフ協会主催のジュニアスクール、米国発ファーストティプログラムに会場を提供しています。また、ゴルフ入門としてスナッグゴルフ親子体験会を定期的に開催しています。



健康寿命を延ばす

高齢者が定期的にゴルフをすることで認知機能が向上することが独立行政法人国立長寿医療センター等の研究で明らかになりました。

この結果に基づき、高齢のゴルフ未経験者・初心者に向けた「ウィズ・エイジングゴルフ」プログラムを立ち上げ、コースデビューまでサポートしています。

ゴルフという新しい楽しみを見つけられ、健康促進と仲間づくりの場を提供しています。



ASCゴルフ練習場（関係会社）

245yd、60打席天然芝練習場が隣接しています。広々とした芝生のアプローチ、バンカー、パター練習場があり、所属プロによるスクール、ラウンドレッスンもご用意しており、ゴルフ上達へトータルでサポートをしています。



業務提携ゴルフ場

立科ゴルフ倶楽部（長野県）と業務提携しており、涼しい高原でのゴルフをお楽しみいただいています。



中1番



ゴルフ業界では異常気象による土砂崩れや倒木が大きな問題となっておりますが、倒木は焼却せずリサイクルする仕組みを作りました。刈草は堆肥化し、緑化系廃棄物は焼却せず資源として活用しています。

コース管理

ISO14001 に基づきゴルフ場とその周辺の「生物多様性」を維持していくため、松枯れ用殺虫剤を中止し、選定や土壌改良で対応する等、薬剤や農薬の使用を減らしています。



CO₂ 排出量の削減

1992 年にターフコンポスターを設置し、日々発生する大量の刈草や落ち葉を焼却処分せずに堆肥化し、コースの肥料として有効利用しています。年間 150 トンのコンポスト（堆肥）



上からコンポスター、炭焼小屋、チップパー

を生産しています。自家消費により約 20% の石油系化学肥料を削減し、石油原料の消費圧縮につなげています。

2002 年には炭焼窯を設置し、間伐材から炭を作り、炭から自家用融雪剤を製造、また地元で炭材を販売しています。副産物の木酢液は土壌改良や害虫忌避剤として利用しています。

2009 年には間伐材を粉砕するチップパーを設置し、剪定枝の堆肥化をはじめました。

2012 年には熱源であるボイラーを重油から LPG に転換しました。

ターフコンポスター、炭焼窯、チップパー、ボイラーLPG 化の導入による CO₂ 削減量に、本来のゴルフコースが大気中から吸収する CO₂ 3,230 トン/年* が加算され、将来、排出権取引市場にも十分対応可能だといえます。

ISO14001

2000 年に ISO14001 認証取得し、環境に負荷をかけないゴルフ場の活動を全社員で考えています。総使用エネルギー量や廃棄物の削減目標値を達成するため努めています。

SDGsへの貢献

2015 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 17 項目」のうち 3.6.7.8.11.13.15 に共通した企業活動に取り組んでいます。

今後も、持続可能な世界の実現に向けて努めてまいります。

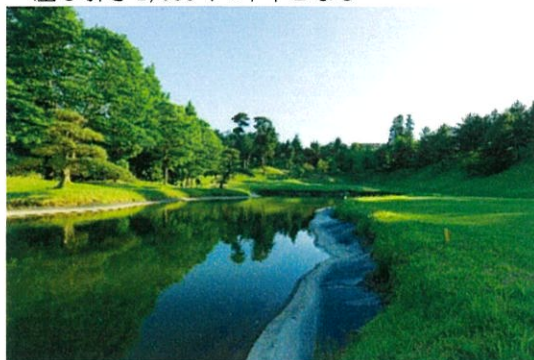
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



これから

業界に先駆け「環境問題」「地域貢献」「健康寿命の延長」などのテーマに取り組んできましたが、今後もゴルファーと地域にとって、なくてはならない存在として活動してまいります。

*九州大学名誉教授、元西日本グリーン研究所長 縣和一氏による算定
CO₂ 収支は、業務による CO₂ 排出 1,180 トン/年を差し引き 2,058 トン/年となる



中 9 番

株式会社 大相模カントリークラブ

本 社 〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-2 平森ビル 8 階
電話 (03)5759-2574 / FAX (03)5759-1520
ゴルフ場 〒243-0308 神奈川県愛甲郡愛川町三増 1764-4
電話 (046)281-1181 / FAX (046)281-3872

